

1976. 7

試験期に備えて

まもなく、前期の試験がはじまります。
試験に備えていくつかお知らせいたします。

1) 開館時間延長

期間 6月28日(月)～7月10日(土)

時間 平日: 9時から6時まで

土曜: 9時から3時まで

2) 一部図書の貸出期限変更について

試験期には一部の図書に予約が殺到しますの

で、予約の多い図書に限りオーバーナイト貸出、
三日貸出等の貸出期限の変更をいたしますので
ご了承下さい。

3) 複写について

受付	午前中	12時
	午後	4時

午後4時以降は、複写は致しません。

ノート・レポート類の複写は致しません。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆
☆☆ 夏休み貸出について ☆☆☆
☆☆
☆☆ 貸出期間 7月19日(月)から ☆☆☆
☆☆ 9月18日(土)まで ☆☆☆
☆☆ 貸出冊数 1人3冊 ☆☆☆
☆☆ ★ 夏休中、図書館は開館してい ☆☆☆
☆☆ ますので、ご利用下さい。 ☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新しく雑誌が増えました。

新しく次の雑誌が購入される事になりました。
皆さんの利用を待っています。

1. 文学界
2. 栄養と料理
3. サッカーマガジン
4. 週刊現代
5. 週刊新潮
6. ステレオ芸術
7. 芸術生活
8. 季刊芸術
9. 歴史と人物
10. 歴史読本
11. 別冊太陽
12. デラックス文春
13. 演劇界
14. 大法輪



「 一 冊 の 本 」

立 川 昭 二 （歴史学）

「一冊の本」といえばなんだろう。それも青春の書となれば — 。わたしにとって、それはロマン・ロランの『ジャン・クリストフ』かもしれない。学徒動員で働いていた兵器工場の片隅で読みふけた『ジャン・クリストフ』のカバーは、油と汗ですっかり汚れてしまった。

しかし、アンドレ・ジイドの『狭き門』をおとすことはできない。『狭き門』を原文で読みたいばかりに、フランス語にとりくみ、それが縁でギリシャ語・ラテン語にかじりついた過ぎし日 — 。そのころ、人づき合いの悪いわたしのいちばんの話し相手といえ、現実の友人ではなく、『狭き門』のアリサやジェロームたちであった。敗戦の昭和 20 年の冬、神田の古本屋の店先になん時間もならんだすえ、ようやく手に入れたふるぼけた『狭き門』 — 。それを宝物のようにしっかりと胸にかかえ、夢見心地で家に帰ったものだ。

心にのこる本というのは、不遇のときに出会った本が多い。その一冊、わたしの最愛の本のひとつ、それはジャベル（尾崎喜八訳）『一登山家の思い出』というささやかな本である。ささやかではあるが、あたかもシューベルトのように優しく、モーツァルトのように哀しく、それはひととき、わたしに生きることを意味を語りかけてくれた。

もし、さいきんの本ということになれば、ソルジェニーツィン『ガン病棟』とともに、石牟礼道子『^海苦界浄土』をあげたい。

『人間の土地』の作者サン・テクジュペリは、現代文明のいたるところに、少年モーツァルトの死をかぎつけた。もし、わたしの内なるモーツァルトが圧殺されないでいるとすれば、それはやはり、これら「一冊の本」のおかげかもしれない。

「 好 奇 心 」

楠 明 子 （英語）

大学一年の時、「我々が本を読んだ時、その後の生き方が変る程大きな衝撃を得るのは、せいぜい、18才位までである。それから後の読書は、すでにでき上ってしまった我々の人生観を修正してくれるにすぎない。」というグレアム・グリーンの記事を読んで、私は愕然とした。その時、すでに18才を過ぎていたのに、子供の頃から、家の中で本を読むより戸外で運動す

る方がずっと好きだった私は、生き方そのものを左右されるような本に邂逅したことが唯の一度もなかったのだ。クラブの練習と学校の勉強の時間のやり繰りに必死で、人生について落着いて考えたこともなかった。自分の生き方もわかっていないのに、読書によって人生観を修正しようもない。この後続くであろう永い命を、私は、一体、どうやって持ちこたえていくのだ

ろうかと、焦燥感に襲われた。

しかし、人間とは不思議なものである。今から考えてみると、あの時すでに私の生き方は決まっていた。私の中でいつも燃えていた、自分を含めた人間への好奇心を素直に追求していくことだ。これは本から教えられたものではなく、私に先天的に宿っていた衝動である。言いかえれば、これ以外の生き方は、私にはできなかったのだ。『非文学少女』だった私が、大学二年の時、異文化の人間への好奇心に憑かれて英米文学を専攻した。そして、この頃から、私の好

奇心は、生身の人間に対してだけでなく、人間とはどんな存在かを開示してくれる書物へと向かっていった。

本との出会いが遅かった私は、残念ながら、本によって生き方を根底からゆさぶられる経験はもたなかった。しかし、作者の人間への興味が言葉となってきらめく作品を読むことによって、私の人間ヴィジョンを修正することは、命のある限り続けていきたい。そんな永遠の青くさが、私は好きである。

青 野 桂 子 （物理）

このような欄にものを書くどうしても最大公約数的なことを書くことになってしまう。特に『読書』という内面生活を種々の生いたちの人々に同じように話しかけることはとても苦手であると同時に嫌いである。しかし、読書の習慣がなく、そのきっかけをさがしている人もいるのかもしれない。と思うと重い本を書くわけにはいかない。『活字に親しめば自分で選書するようになる』など、柄にもなく教育的なことを考えていると、よけい気が重くなる……。

^{こにきて}ふと、2ヶ年過ぎてしまったことに気づく。このあいだ、不思議に感じていることは、勉強にしろ、遊びにしろ、基準がこの学校内の人同志の範囲で出来、そこを一步も出ていないらしいことである。他大学の友人との学問的？交流が行なわれていないらしいこと？である。そこで、幼なかりしころ読んだ『山椒魚』が頭に浮んだ。次に、生命の科学と称しながら、実は、

釣りが好き、動物が好き、ただ、それだけで、学問、技術、技能の違いを考え得ずに入り出て（入学・卒業とは云わぬ）行く人のなんと多いことか。そこで読みものを2種あげてなぞかけをしたつもりである。そして、この生き方の根源となっているらしい『甘え』について考えてはしなくなった。このテーマは 近年賑々しくマスコミでさわがれた問題なので私が云うまでもない。最後にこの日本的あまりにも日本的な学校のこのような人々の土壌となっている風土を考えてはしなくなって『日本の精神的風土』をあげてみた。以上私の言も一部の学生とのせまい狭いつきあいの中から出た狭いせまい言であろう。何はともあれ、一人でも本に近づくきっかけをもってくれれば、このような言をはいてしまった恥かしさも救われると思いつつペンを置く。

ご存知ですか！

貸出期間の延長

本は予約のない限り、返却期限の翌日より1週間の延長が2回まで出来ます。

但し、Over night 貸出のものは延長できません。

手続きは借りている図書(雑誌)と閲覧証を

持ってくれば延長できます。

又、期日までに都合で返却に来られない場合には、電話でも延長をすることができます。

但し、その際予約がかかっていたら、返却しなければなりません。

提案箱から

- 閉館時間が早い。
せめて6時までには閉館をまってもらいたい。
テスト期間中のみではなく一般の日にも！
- 夏休み中の本の貸出しが1人3冊までですが、5冊にしてもらいたい。
一度家に帰るとそれっきり利用できないため。

相模原のキャンパス内には、3つの図書館があります。その内の医学図書館は平日7時まで利用できますし、衛生図書館は6時まで開館しています。

教養図書館は一応、1年生が対象となっているため、5時で閉館しています。今のところは試験期を除く開館時間の延長は予定しておりません。

又、休み中の貸出冊数は、多く貸出した場合、

しばしば自分の借り出した本の把握ができず事故を起こすケースがある為、3冊が妥当であるとして貸出しております。

夏休み期間中、図書館はずっと開館しています。ぜひたくさんの本を利用して下さい。

ひとこと

試験期が近づいて来ると、図書館も混んでにぎやかになります。複写を依頼する人、本を借りる人、期間の延長をする人、とさまざまな人達です。カウンターでは、係員がてんてこまいです。どうぞ皆さん、自分だけ早く済ませたいとあせらないで順番を待って、気持ちよく手続きを済ませて下さい。

又、試験期には図書の切り抜き、紛失、延滞が目立ってきます。自分1人の事を考えず、一緒に学ぶ仲間の事や、後輩の事を忘れないで試験に臨んで下さい。

ひとこと